



### 所長コメント

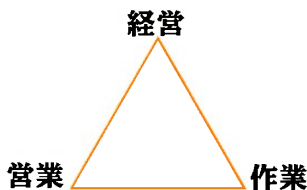


彼女は絵馬に何を書いたのだろうか？  
「素敵な王子様が現れますように」なんて、願ったのだろうか？  
10代は〇〇〇高校、大学に入学できますように、20代は希望の会社に入れますように、30代、40代は我が子の安全を祈願し、60代の現在は健康で、病気せずに過ごせることをまず第一に書く。  
いろんな願い事が神様に届けられる。この絵馬の中で、神様に微笑んでもらえた人は何人いたのだろうか？

そんなことを、旅先で訪れた宗像大社(福岡県宗像市)で想像してみた。  
古事記の時代から、朝鮮半島との交易のため、玄界灘を無事に往来できるようにと宗像三女神が祭られているとのこと。  
かつて、黒田官兵衛も朝鮮出兵の時に訪れたのかもしれない。  
早いもので、もう12月。今年も無事大過なく過ごせそうである。  
来年は絵馬に何を書こうか？まだまだ世俗から卒業できない私です。

## 社長の仕事 税理士 大場史郎

会社の構成は概ね次のようなものだ。  
質のいい仕事を取ってくる――営業部隊  
より効率的に無駄なく仕事をこなす――現場、作業部隊  
そして、会社の進路を決め、全体を統括する――経営者、隊長  
いかにいいチームを作るか、それが社長の仕事である。  
総数2人の場合は、作業員が1人、社長が営業も兼務するというケースもあるだろう。



また、10人になっても、100人になっても、人数の割合は違っても構成は同じだ。  
大事なことはこのようなトライアングルを作るという方向性を、会社を興した時から持っておくことだ。  
ところが、総数10人いても、社長と他はすべて現場というケースも多い、仕事を取ってくる営業がない。ひどい場合は社長も合わせてすべて現場というケースもある。

よほどコネのある得意先を持たない限り、利益の出せる仕事が舞い込むことはない。  
人手が足りない時なら、供給より需要が多いので可能だが、こんな特需はめったに来ない。  
私は社長がいつも自ら現場で指揮を執るのは、儲からない会社の典型だと思う。この意見には反論する人もいるでしょう。  
強いチームは1・2番が塁に出て、3・4番で返す。そして先発投手がある程度投げ、最後にストッパーが締めくくる。  
社長の最も大きな仕事は、バランスのとれたチーム作りです。メンバーが一定せず、コロコロ変わるのも弱小チームの典型です。作業チームばかりだと、3・4番ばかりのチームになり、コンスタントに勝ち続けることはできない。監督という立場で、自分の会社を見てくださいか？